

---

支部長挨拶

---

## “財産”は増やしつづけてゆかねばならない

---

支部長 佐久間昇二（高2回）



お隣の柏崎高校東京支部会員341名。総会出席者74名(昨年度)。幹事さんが、“高田は凄い。特別だな”と。

北城高校東京支部総会も出席者80名位。“高田が凄いのではなく、高田高校が目茶苦茶凄い！！”ということになります。

支部会報24号で上金忠夫先輩(中43)が“東京支部の誕生”にふれておられます。昭和40年(43年前)第一回同窓会が開かれ4～50名の参加。山本義章さん(中21)と名簿づくりを始め4～5,000人を対象に呼びかけ、1%しか集まらず“その難しさを思い知らされた”と述懐されています。

“ローマは一日してならず”。高田高校の凄さは、実は私たちの先輩が大変な努力をつみ重ねてつくりあげられたものです。

総会出席者、昭和57年200名突破。平成元年300名突破。そして平成16年には579名の参加。

ただ私の心配は、平成16年を頂点に参加者が減少傾向に入っていないか。特に“若もの離れ”がおきていないかという点です。

今日の隆盛を築きあげられた先輩の多くは、今はおられません。残された私たちの手でこの立派な“財産”を増やしつづけてゆかねばならないと思います。みなさんの力強いご支援を心からおねがいします。